

シャトル

COMPACT STATION WAGON
DEBUT

日刊自動車新聞

発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

ホンダ
新型
シャトル
特集号

格好良く、快適に、愉しく、賢く!

コンパクト ステーションワゴン誕生!

ひとクラス上の質感と新たな価値観を提案。

ホンダのラインアップに新世代のコンパクト・ステーションワゴンが加わった。その名は「シャトル」。ホンダファンにはお馴染みのネーミングだが、新型シャトルはステーションワゴンの価値が徹底的に見直され、自分の個性や価値観を大切にしたい人のためのクルマへと生まれ変わった。シャープでクレバーな雰囲気のスタイリング、取り回しがしやすいサイズ、低燃費ながら運転が楽しめるドライバビリティなど、ホンダのステーションワゴンならではの魅力が散りばめられ、もちろんワゴンならではの収納性も確保されている。家族や気の合う友人を誘い、どこか遠くへ出かけたいシャトル。コンパクト・ステーションワゴンの新たなスタンダードとなる予感とともに走り出した。



HYBRID Z

クラストップレベルの低燃費 **34.0km/ℓ** (HYBRID FF車)

文/田畑 修 (ライター・ジャーナリスト) 写真/奥隅 圭之

純正アクセサリ

シャトルを一段と個性的に仕上げられる純正アクセサリも豊富に用意されている。バランスのいいエアロパーツなどで精悍さを演出する「エアロスタイル」、品のあるクロームパーツで上質感を高める「クロームスタイル」などの提案に加え、夜間走行時の雰囲気を高めるホワイトLEDのイルミネーションや、本革パーツでインテリアの高級感を高めるアイテムも用意。ステーションワゴンの要でもあるラゲッジルームのプレミアム感を高める革調素材のラゲッジボードも気になる逸品だ。ドライブレコーダーなどの機能パーツも用意され、幅広い選択が可能となっている。



リアスカート(リア用)

フロントフェンダーガーニッシュ



ナビとスペシャルパッケージ

ホンダ独自のインターナビ・リンクプレミアムクラブに対応した次世代ナビゲーションシステムをオプションで用意。静電式タッチパネルによりスマートフォンのような操作感を実現し、多彩な情報を活用しながら目的地を目指すことができる。エアコンパネルと一体化された質感の高いデザインも魅力。



福祉車両

より多くの人がシャトルのスムーズな乗り心地や快適性を満喫できる福祉車両も充実している。

負担感なく乗り降り可能な助手席回転シート車は専用形状のクッションによりホールド性に優れ、回転機構も軽くスムーズで、誰もが移動の楽しさを味わうことができる。また、ラゲッジのアンダーボックスは、ただただ車いすの後輪と前輪が収まるようにレイアウトされており、楽に積み込めるとともにガタつきを抑えられるように配慮されている。



シャトル主要諸元表	HYBRID		HYBRID X		HYBRID Z		G	
	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
駆動方式	7速オートマチック		7速オートマチック+パドルシフト		7速オートマチック+パドルシフト		無段階変速オートマチック(トルクコンバーター付)	
全長(mm)/全幅(mm)	4,400/1,695		4,400/1,695		4,400/1,695		4,400/1,695	
全高(mm)	1,545	1,570	1,545	1,570	1,545	1,570	1,545	1,570
ホイールベース(mm)	2,530		2,530		2,530		2,530	
トレッド前後(mm)	1,480/1,485	1,480/1,470	1,480/1,485	1,480/1,470	1,475/1,475	1,475/1,465	1,480/1,485	1,480/1,470
最低地上高(mm)	130	145	130	145	130	145	130	145
車両重量(kg)	1,190	1,260	1,220	1,290	1,240	1,300	1,130	1,190
乗車定員(名)	5		5		5		5	
室内寸法 長さ/幅/高さ(mm)	1,925/1,450/1,290		1,925/1,450/1,290		1,925/1,450/1,290		1,925/1,450/1,290	
エンジン型式	L15B		L15B		L15B		L15B	
エンジン種類	水冷直列4気筒横置		水冷直列4気筒横置		水冷直列4気筒横置		水冷直列4気筒横置	
エンジン総排気量(ℓ)	1.496		1.496		1.496		1.496	
使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン		無鉛レギュラーガソリン		無鉛レギュラーガソリン		無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量(ℓ)	32		32		32		32	
エンジン最高出力(kW[PS]/rpm)	81[110]/6,000		81[110]/6,000		81[110]/6,000		81[110]/6,000	
エンジン最大トルク(N·m[kgf·m]/rpm)	134[13.7]/5,000		134[13.7]/5,000		134[13.7]/5,000		134[13.7]/5,000	
電動機(モーター) 型式/種類	H1/交流同期電動機		H1/交流同期電動機		H1/交流同期電動機		H1/交流同期電動機	
電動機(モーター) 最高出力(kW[PS]/rpm)	22[29.5]/1,313-2,000		22[29.5]/1,313-2,000		22[29.5]/1,313-2,000		22[29.5]/1,313-2,000	
電動機(モーター) 最大トルク(N·m[kgf·m]/rpm)	160[16.3]/0-1,313		160[16.3]/0-1,313		160[16.3]/0-1,313		160[16.3]/0-1,313	
動力用主電池 種類/個数	リチウムイオン電池/48		リチウムイオン電池/48		リチウムイオン電池/48		リチウムイオン電池/48	
JCO 8モード走行燃費消費率(k/ℓ)	34.0(32.8)	27.6	32.0	27.6	29.6	25.8	21.8	19.4
最小回転半径(m)	4.9		4.9		4.9		4.9	
タイヤ(前・後)	185/60R15 84H		185/60R15 84H		185/55R16 83V		185/60R15 84H	
ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)	
主ブレーキの種類・形式 前/後	油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式リーディングトレーリング		油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式リーディングトレーリング		油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式リーディングトレーリング		油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式リーディングトレーリング	
サスペンション方式 前	マクファーソン式		マクファーソン式		マクファーソン式		マクファーソン式	
サスペンション方式 後	車軸式	ド・ディオソ式	車軸式	ド・ディオソ式	車軸式	ド・ディオソ式	車軸式	ド・ディオソ式

()内はメーカーオプションの「あんしんパッケージ」または「Hondaインターナビ」装着車。メーカーオプションを組み合わせて装着した場合、車両重量、燃料消費率は異なります。詳しくはお近くの販売会社にお問い合わせください。

シャトル



細部までいねいに造り込まれたインテリアもシャトルの魅力のひとつだ。

インテリア

ソフトパッドを使ったインストルメントパネルは高い質感で仕上げられ、メーターパネルやセレクトレバー回りに配されたクリスタルブラックパネルが高級感を演出。運転席と助手席を分けるハイデッキコンソールには大型のアームレストが併設され、その中の大型コンソールボックスはタブレット端末も収納可能な容量が確保されている。メーター類はハイブリッド車は奥行きを感じさせる立体的なデザインがなされ、ガソリン車はシンプルでスポーティなタイプを採用。シート表皮はスウェードを上回る滑らかさを実現した新たなファブリック素材を採用し、ハイブリッド車の上級グレードにはより質感の高いコンビシートが標準装備される。



燃費とパワートレイン

ハイブリッド車にはアトキンソンサイクルのガソリンエンジンと、電動モーター内蔵の7速デュアルクラッチ・トランスミッション(DCT)を組み合わせた「スポーツハイブリッド-DCD」を搭載。

モーターのみの走行も可能としたことでJC08モード燃費34.0km/ℓ (HYBRID FF車)という低燃費を実現している。もちろん燃費だけでなくホンダ車ならではの優れたドライバビリティも両立しており、運転を楽しみながら目的地を目指すことができる。一方のガソリンエンジン車は1.5ℓの直噴エンジン+CVTを搭載。こちらもホンダエンジンならではの爽快なドライバビリティが嬉しい。また、ハイブリッド車、ガソリン車ともにビスカスカップリングを用いた4WD車をラインアップしており、寒冷地や積雪地域のユーザーへの配慮も忘れていない。

シャシー、ボディ、静粛性

シャシーのパフォーマンスアップも抜かりない。

ステアリングシステム、サスペンションシステムなどを新型シャトル専用設計直してあり、電動パワーステアリングは専用のセッティングとすることで軽快な操作感を実現。サスペンションも各部を煮詰めることで安定感のある走りや乗り心地を両立している。FF車はリアアクスルビームの剛性アップにより高速走行時の安定性を高め、さらにハイブリッドXとハイブリッドZでは振幅感応式ダンパーを採用。低速時の乗り心地を向上させるとともにコーナリング時の操縦安定性を高めている。クルマの動きの根幹となるボディも各部の補強により剛性を高め、風切り音の低減などにより静粛性も向上。長距離ドライブでも疲れにくいクルマに仕上げられている。



ホンダ シャトル開発者の声 本田技術研究所 四輪R&Dセンター LPL 磯貝尚弘さん

Engineer's Voice

「もっと速くまで行きたい」という気持ちを刺激するコンパクトカーを創りたい。乗る人を魅了する情感、そして使いやすさ、その高次元での両立を実現しました。コンパクトステーションワゴンでありながら、ひとつ上のクルマと比較できる室内スペース、ラゲッジ、デザインに存在感を感じていただけるかと確信します。さらに、クラストップレベルの燃費、競争力のある価格設定など、バランスの取れたクルマになったと自負しています。実際に試乗していただき、段差を乗り越えるときなど、安心感の高い操縦性と乗り心地を感じていただきたい。また高速走行時の静粛性も体験していただきたい。



ステーションワゴンならではの流麗なライン

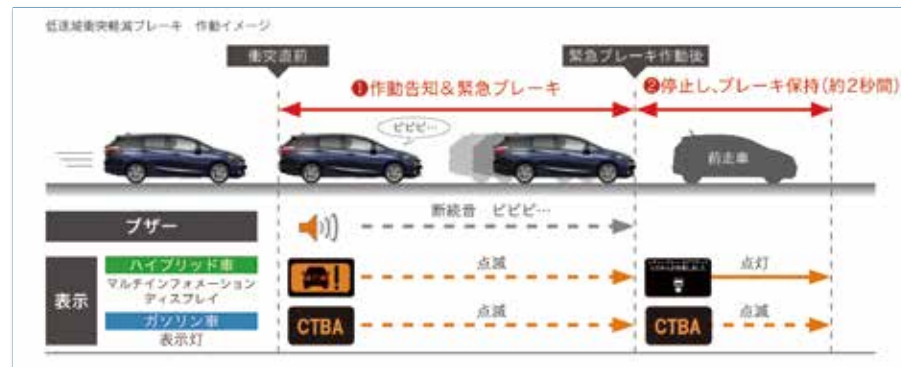
COMPACT STATION WAGON DEBUT



安全性能

ホンダ独自のGコントロール技術により、高い安全性能を実現している点も見逃せない。

万一の事故時には乗員のいるキャビンを守り、さらに相手のクルマなどへの影響を抑えるコンパティビリティ対応ボディを採用。優れた衝撃吸収性能により歩行者保護性能も高いレベルで確保している。先進安全機能である「シティブレーキ・アクティブシステム」も用意され、レーザーレーダーと自動ブレーキにより低速時の衝突回避を支援し、一方で発進時の急激なアクセル踏み込みを感知するとハイブリッドシステムやエンジンを制御して誤発進を抑制。全方位で安全運転をサポートしてくれる。



ヘッドライトとグリルが一体化されたインパクトのあるフロントデザインが際立つ

シャトル コンパクトステーションワゴン



先進性を表現するライトデザイン

エクステリア

ハイブリッドはブルーメッキ加飾、ガソリン車はメッシュとそれぞれ個性を主張しているところも見逃せない。

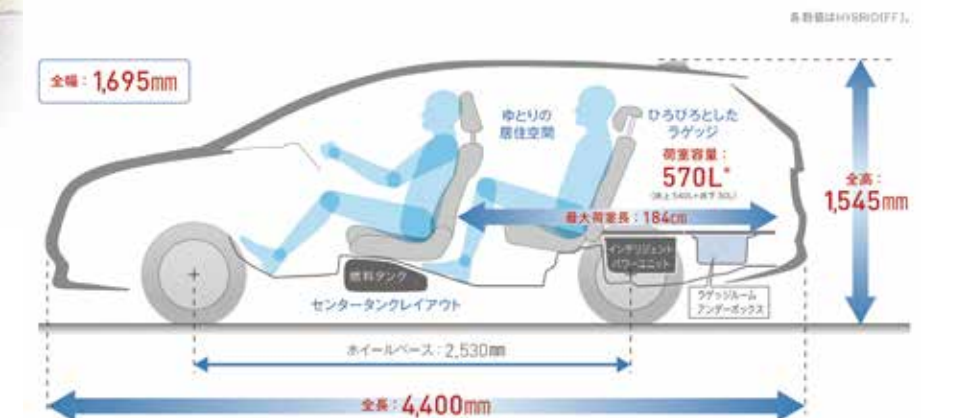


LED光源をリフレクターで反射させ、ヘッドライト全体が光るインラインタイプのLEDヘッドライトも一部の車種に設定されている。サイドに回ると彫りの深いキャラクターラインがスポーティなイメージを醸し出し、流れるような長いルーフィングがステーションワゴンならではの流麗なラインを描いている。立体的なデザインのリアビューはメッキモールにより引き締められ、過ぎ去る姿を印象づける。スーパーラチナ・3コート塗装が高級感を演出し、2色の新たなボディカラーも用意される。

パッケージング

全長4400mm、全幅1695mmのコンパクトなボディながら、クラスを超えた室内スペースと快適性を実現したシャトル。

ホンダ独自のセンタータンクレイアウトにより前席はもちろん、後席も余裕のある空間を確保し、乗員の頭上や膝回りの余裕度も一段と高められている。リアシートは2段階のリクライニング機構を備え、大人3人がゆったりとくつろぐことができる。そしてステーションワゴンでは重要なファクターとなるラゲッジルームは、床下収納スペースを含めて570ℓ (HYBRID FF車)の大容量を確保。先代フィットシャトルハイブリッドに対して53ℓもの容量アップが図られている。それでいて5ナンバーサイズならではの取り回しのしやすさは健在。狭い道を走るときや駐車するときはそのありがたさを実感できるはずだ。



こだわりのラゲッジ

最新ステーションワゴンならではのラゲッジルームのこだわりにも注目したい。

リアゲートの開口幅は最大1100mm、荷室幅は最大1510mmが確保され、リアシートをたたむと奥行き1840mmものスペースを得ることができる。さらにハイブリッドX、ハイブリッドZではリアシートバック後方に折りたたみ可能な「マルチユースバスケット」を装備。フタタッチで開くこのバスケットには床に置きたくない大切な小物などを載せることができ、リアシートから簡単に手が届くというアクセス性の良さも特筆できる。また、ラゲッジスペースはサイドライニングも含めて厚みのある素材のラゲッジカーペットが敷きつめられており、積載物に無用な傷がつかないように配慮されている。



ラゲッジルーム アンダーボックス



クラス最大のラゲッジスペース



ファブリック/プライムスムーズ コンビシート